



こまぼんのなるほど!

# みなと講座

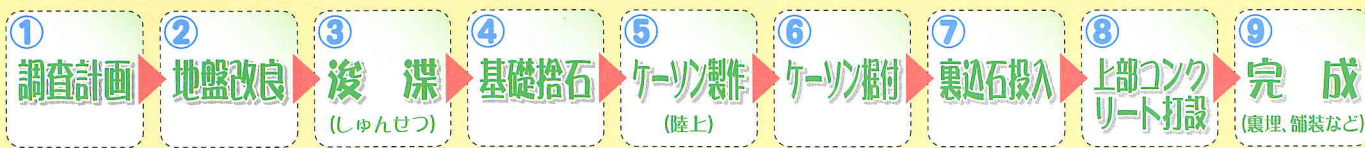
～港湾・空港のことをもっと知っていただくために～



ぼくの名前は「こまぼん」。小松島港湾・空港整備事務所のマスコットキャラクターだよ。タヌキの耳と尻っぽが目印。一般公募によって名前がつけられたんだ。

## 第27回 岸壁が出来るまで

旅客船の乗客の乗り降りや、貨物船の荷物の積み降ろしなどを、安全でスムーズに行うために作られた施設の一つに岸壁があります。今回は、当事務所で現在工事を行っている沖洲(外)地区を例に岸壁が出来るまでについて紹介します。



### ①調査計画

岸壁となる所の色々な現地調査や設計、海を埋め立てるための許可などをもらいます。



(土質調査)

### ⑧上部コンクリート打設

岸壁として使用できるように、ケーソンの上にコンクリートを打設します。



(コンクリートプラント船による打設)

### ③浚渫 (しゅんせつ)

船が安全に入ってこれるように、余分な土砂を取り除き平らにします。取り除いた土砂は、他の場所へ運び埋立てなどに有効利用します。



(浚渫船による作業)

### ⑤ケーソン製作

陸上では、岸壁本体となるケーソン (大きなコンクリートの箱) を作っておきます。今回の工事では、約10m×20m×11m (ビル4階建て相当) のケーソンを製作しました。



(コンクリート打設)

### ⑥ケーソン据付

陸上で作ったケーソンを大きな船(起重機船)で吊って運び、基礎捨石の上に置き(据付)ます。据付られたケーソンの中に砂などを入れ、コンクリートでフタをします。(1ページ目を参照)



(ケーソン据付)

### ⑨完成 (裏埋、舗装など)

岸壁の後ろを土砂などで埋めて、その上をコンクリートなどで舗装を行えば岸壁が出来上がります。



(裏埋土砂投入)

### ⑦裏込石投入

ケーソンの後ろに石(裏込石)を入れます。



(裏込石投入)

### ④基礎捨石

船から石を入れ岸壁本体(ケーソン)を置く(据付)ための石の土台(基礎マウンド)を作ります。潜水士と呼ばれる人が水中で石をきれいに均します。



(潜水士による均し作業)

### ②地盤改良 (第25回 地盤改良「CDM工法」参照)

海底地盤が軟らかい場合、海底の土を堅く強いものにします。沈下や地震による液状化を防止します。



(深層混合処理船による地盤改良)

見た事のある作業や機械(作業船など)はありましたか? ちなみに、写真番号④⑦⑧⑨は他の工事現場です。参考にして下さい。